

### (3) 成果と課題及び指導改善のポイント

## 小学校国語（小学5年生、中学1年生）

### 成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 平成30年度[12月調査]<sup>\*</sup>で「おおむね達成」の基準を下回っていた「間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする」ことを問う設問が、「おおむね達成」の基準を上回っており、改善の傾向が見られる。  
(小学5年生<sup>2</sup>二、中学1年生<sup>2</sup>二)
- ◇ 漢字のへんについて理解することや熟語の構成について理解することができている。  
(小学5年生<sup>5</sup>四、中学1年生<sup>5</sup>四)
- ◇ 話し手の意図を捉えながら聞いたり、目的や意図に応じて発言の構成を工夫しながら話したり、司会の役割を考えながら話し合ったりすることができている。  
(中学1年生<sup>1</sup>一二三)
- ◆1 理由を明確にして話す内容を構成したり、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問したりすることに課題が見られる。  
(小学5年生<sup>1</sup>五、中学1年生<sup>1</sup>五)
- ◆2 目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして書いたり、自分の考えを書いたりすることに課題が見られる。  
(小学5年生<sup>2</sup>一、中学1年生<sup>2</sup>四)
- ◆3 叙述を基に登場人物の気持ちの変化を捉えたり、登場人物の相互関係や心情についての描写を捉えたりすることに課題が見られる。  
(小学5年生<sup>4</sup>三、中学1年生<sup>3</sup>一)

\* 平成30年度佐賀県小・中学校学習状況調査[12月調査]Web報告書 参照

### 指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆1 理由を明確にして話す内容を構成したり、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問したりする力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
  - 話の展開に沿った質問のモデルを教師が演示したり、発言の型を具体的に示したりしていますか。
  - 話し手の意図は何か、自分の考えとどこが同じでどこが違うかなどを考えながら聞くことができるように聞くポイントを示していますか。
  - 事実と感想、意見を色分けしたメモ用紙に書かせたり、構成表を友達と見せ合ったりするような活動を授業に位置付けていますか。
- ◆2 目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして自分の考えを書く力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
  - 書く相手や目的、方法を明確にしたり、例文を示して具体的なゴールのイメージをもたせたりしてから学習に取り組ませていますか。
  - メモや構成表などを使って、事実と感想や意見を区別して書くことができるようにしていますか。
  - 理由や事例を挙げて書く際は、「なぜか」と～、「その理由は～」、「例えば～」などの表現を使ったり、文末の書き方を使い分けたりするとよいことを指導していますか。
  - 自分の書いた文章を読み返したり、互いに読み合って感想を伝え合ったりするような活動を授業に位置付けていますか。
- ◆3 叙述を基に、登場人物の気持ちの変化や心情についての描写を捉える力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
  - 場面ごとに読むだけでなく、物語全体に広がっている複数の叙述を関連付けて読むことができるように指導していますか。
  - 登場人物の心情を行動や会話、情景描写など本文に書かれていることを根拠にして読み取ることができるように指導していますか。
  - 物語の山場はどこか、山場で何がどのように変化したのか、変化のきっかけは何かなどを考えながら読み、登場人物の気持ちの変化について話し合う活動を授業に位置付けていますか。



他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください！ → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

■ 設問の概要と結果

	出題の趣旨（出題方法）	設問の内容	県正答率	十分達成
問 2 四	目的や意図に応じて、自分の考えを書く。（記述式）	ユニバーサルデザインについて調べたことを書いたリーフレットの「まとめ」の一部を、条件に合わせて書く。	35.8	70.0
			無解答率	おおむね達成
			7.2	50.0

【正答の条件】 次の①、②、③の条件を全て満たしているものを正答とする。

- ① 書き出しの文に続けて二文で書き、一文目は、「まちの人の声」から一人の意見を取り上げて書いていること。
- ② 二文目は、取り上げた意見について、自分が考えたことを書いていること。
- ③ 途中で行を変えないで、90字以上、110字以内にまとめて書いていること。ただし、書き出しの文は、字数に含まない。なお、「、」「。」「かぎ（「 」）」は字数に含む。

■ 誤答例と解説

生徒の解答状況を分析した結果、次のような誤答傾向が見られました。

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
<p>・以前と比べると、いろいろなところに足の不自由な人も通しやすいスロープができたけど、全ての建物に取り入れられていないので困ることがあります。だから、困っている人がいます。</p> <p>「まちの人の声」から取り上げた意見に対する自分の考えを書いていない。</p>	<p>・ユニバーサルデザインによって体の不自由な人やベビーカーで買い物をしている人を助けることができ、日本に来た外国人観光客の人達も助けられています。多くの人達がこの取り組みに感謝しています。</p> <p>「まちの人の声」から一人の意見を取り上げたのではなく、三人の意見を取り上げて書いている。</p>	<p>・確かにお年寄りや体の不自由な人向けに手すりやエレベーターがあり、とても工夫されていていいと思います。それに対して案内板には、外国語の文字も書いてあった方が外国から来た方も場所が簡単に分かります。</p> <p>「まちの人の声」から一人の意見を取り上げたのではなく、自分の考えを二文で書いている。</p>

■ 改善・充実に向けて

目的や意図に応じて、自分の考えを書くことができるようにするためには、授業中に、次のような活動を設定することが大切です。

**【まちの人の声】**

まちのあちこちには、トイレや非常口などを絵文字で表した案内板があります。そのため、外国から来た方が日本語を読めなくても、トイレなどの場所が分かります。	いろいろなところに足の不自由な人も通しやすいスロープができてきました。ですが、すべての建物に取り入れられていないので、困ることがあります。
-----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

① リーフレットの「まとめ」を書くために、調べたことの中から一つの事実を取り上げて書く。

「まちの人の声」の中から、どの意見を取り上げますか。

これから外国から来る方が増えてくると思うので、案内板のことを取り上げます。

わたしのおばあちゃんが、階段が使いにくいと言っていたので、いろいろなところにスロープができてきたことを取り上げます。

② 取り上げた事実と、自分の意見を分けて書く。

取り上げたまちの人の意見について、自分の考えを書きましょう。あなたはどんなことを書きますか。

すべての建物にスロープが取り入れられていないので、困っていることを書こうと思います。

「すべての建物にスロープが取り入れられていないので困っている」というのは、まちの人の意見ですね。その意見に対する自分の考えを書きましょう。

まちの中にあるすべての建物にスロープをつけると、今よりもっと暮らしやすくなるということを書きたいです。